



今月のインタビューは、

Paint Up Sugarの

佐藤亮一

君だぜい。



## ◆兄との幼き日。

この時期は妻のメシメショート（朝飯前仕事）が始まります。この日はその初日で、僕は上二人の子どもを連れて近場を散歩しに行きました。3番目は「カカ」の背中…。先行く「にいにい」と両手に広がる菜の花の絵が、いつか彼女の記憶に蘇る日が来るだろう…（か？）と、ふと思えた瞬間でした。だんちゃん、いっぱい転んで大きくなるんだよ。



## ◆ゆかいな伴家。

大豆島に住む、僕の母方の祖母と、伯父です。「まあでばあさん、朝起きて来てポケたフリだか、本当に気付かなかったのか、『アレ！？』って顔して見せてさあ。まだ7時だったのに！」（いやいやおじちゃん、7時はそんなに早くないよ。）と思いつつも、その横でおばちゃんと僕がクスクス笑いながらお茶を飲んでいるひと時でした。とにかくこの、僕の祖母はハイカラでユニークなんですよ。僕が学生時代、これから京都の大学に帰るといふ時に寄った際も、ひょいと思



つきで「私も行く！」とついて来たこともありました。大したもんですよ。いつもみんなを笑わせてくれ、どこへ行っても有名人になってしまうばあちゃんは、僕のささやかな自慢の一つです。

## ◆野沢産、天然メープルシロップ！

全然違いますね。ごんにむ荘の好行さんに出していただいた100%ピュア・野沢産メープルシロップです。かんじきで雪の上を歩いていき、2-3月の僅か10日ばかりの間に野沢の山の「とある所」にある【イタヤカエデ】の樹から採れるそうです。一本の樹から採れるのは、うまくいって大体4ℓ。美味しく感じられる糖度40度にするには、煮詰めていって、それがなんと40分の1ほどになってやっと！大変貴重なものをいただきました。野沢で生まれ育って30年以上経ちますが、山のことも知らないことばかりです。好行さんのような「名人」の方の存在が大変貴重に思います。



樹から採れたそのままの状態の「メープルサップ」。頂いちゃいました。煮詰めてシロップにしてみよう！



◆あ、変な、お〜じさん！っと。



このなりきり具合よ！どのうちの子もそうなの？うちの子は常に変装ばかりしています。この写真もペンションの手伝い中、いつの間にか二人で仕上げてきました。その集中力には感心するばかりです。父ちゃんも負けね〜ぞ！

◆かんずり。



妙高の珍味、「かんずり」をご存知ですか？僕は恥ずかしながら最近知ったのですよ。妙高産の唐辛子を雪の上に撒き、それを熟成・発酵させてできる、何とも手の掛かったこの調味料…

僕は相当好きですね。特に合うなあ〜！と思ったのは、ふるさと納税でゲットした麻績村「清水牧場」さんのステーキです。もちろんビールも止まらなくなります。

◆dojo

Samちゃんがやっている「dojo」のウォールクライミングです。いや〜休みの日に雨が降ると何するかが課題なんですよ〜。それが一つ解決しました。クライミングの横にはロウィーさんのスムーズバー「shizen野沢温泉」。家族でそれぞれ楽しめます。このクライミングがですね〜結構難しいんですよ。変な風に力を入れてしまうので、即、腕が限界を迎えます。Samちゃんに「チンパンジーのように腕を伸ばしてやると良いですよ。」というアドバイスをもらったら、少し楽になりました。頭も使うし、達成感も味わえるし、これはいい遊びです。Samちゃん、野沢に素晴らしい遊び場をありがとう！



◆嗚呼、お湯掃除。

ふた月に1度ほどのペースで「湯仲間」内でお湯掃除が回ってきます。あの【掃除中】の板と栓抜き棒が前の当番の方から回って来た時は「く〜！もう回って来たか！」と思ってしまうのですが、しっかりと掃除を終え、朝の新鮮な空気を吸いながら帰る時には「ああ、なんて気持ちがいいのだろう…」と、文字どおり心までキレイに洗われるのです。良き文化です。





◆心地よいとき。

春の穏やかな風の中、そこには青空美容室が開かれていました。隣の家のリオの髪を、過去に美容室で働いていた妻がカットしている時の一コマです。リオの父ちゃんお手製のデッキもお日様であたためられ、木製ニス特有の匂いが漂う、なんとも心地よいひと時でした。「しあわせ」には様々なかたちがありますが、やはりこうした何気ない日常が、いつの日かかけがえのないものになってしまうのだなあ、と感慨に浸る父なのでした…。



◆うちの緑。



ゴムの木、サンスベリアにユッカ…緑が家の中にあると、それだけで心を癒してくれ、豊かな気持ちになれます。緑を置いたオフィスは、そうでない時と比べ、その売り上げが2割（正確な数字は忘れました）もアップするという統計まで出ているそうです。昨秋に飯山の鬼笑庭さんに頼んで、庭には芝生を張りました。小雨の日に息子と肥料を撒いて…。植物が水や栄養をもらっていると思うと、こちらまで気分が良いものですね。今年の夏はここでバーベキューをしたり、椅子を持ってきて読書をしたりと、楽しい想像は際限なく広がります。また、今年はちょっとした家庭菜園ができれば良いな～と思っています。ルッコラを栽培したいのですよ。斜向かいのルーク夫妻に頂いた採れたてのルッコラがとても香り高く美味しかったので。それ以来息子は、ルークさんを「ルッコラの人」と呼びます。

◆仕事、時々、温泉。

リモートワークという言葉が最近よく耳にしますが、野沢は極めてそれに適した所に思えます。価値の高い仕事の多くは、きっと深い思考があってこそ生み出されるものだから。「良い思考」「良いアイデア」は、リラックスした心がないと、そこに行きつきませんーという大義名分のもと、僕は仕事の合間を縫って温泉に向かいます。まあ理由はどうあれ、まだ日の出ているうちから温泉に浸かるのは実に気分が良いものですよ。

